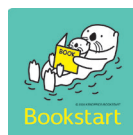


新型コロナウイルス  
対応

2022年5月版

ブックスタート®事業における

# 感染症対策ガイドライン



制作 / 発行

NPO ブックスタート

監修

榊原 洋一（お茶の水女子大学名誉教授／小児科医）

## ガイドラインの目的

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行（パンデミック）を受け、コロナ禍及び今後起こり得る同様の事態において、「ブックスタート」を実施する自治体が事業を継続する際の参考にしていただくため、感染対策を整理してまとめたものです。

新型コロナウイルスの経験から、未知の感染症流行時のブックスタートにおいては、**感染対策と読みきかせや対話の体験**の両立が1つのポイントになることが分かってきました。

「読みきかせの体験」と「絵本」をセットでプレゼントするという活動の形を維持し、安全に配慮しながら事業を実施する手がかりとして、本ガイドラインをご活用ください。

## 監修者の言葉



### 地域と保護者がつながる貴重な機会

榊原 洋一

お茶の水女子大学名誉教授／小児科医

新型コロナウイルス感染症流行下で問題になったことの1つに、保護者のメンタルヘルスへの影響が挙げられます。ウイルスに対する不安から巣ごもりで育児をする保護者は、地域とのつながりが絶たれ、支援の手が届きにくくなったのです。

ブックスタートは、地域が保護者とつながり、親子の愛着形成について伝えることのできる数少ない機会でもあります。感染対策を行った上で読みきかせの体験を届けられれば、家庭で絵本をひらく何よりのきっかけになります。本ガイドラインを参考に対策を講じ、安全に配慮して実施していることを呼びかけながら、そうした機会を活かしていただけたらと思います。

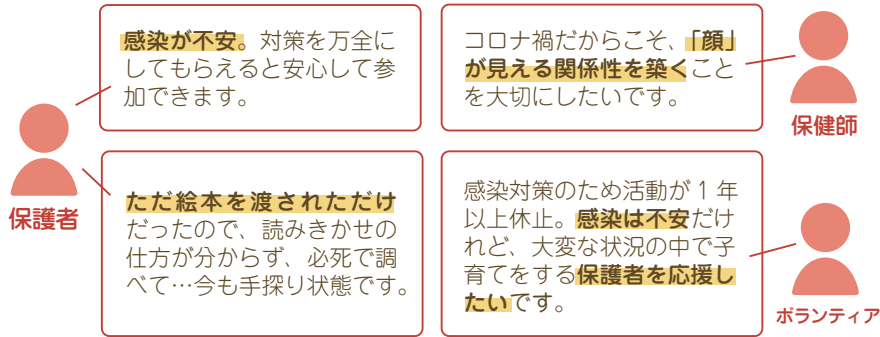
## 目次

ガイドラインの目的	02
監修者の言葉	02
1 基本姿勢	
- 感染症流行時の実施方法検討で大切にしたいこと -	03
2 対策	04
STEP ① 態勢を整える	04
STEP ② 保護者への事前周知	05
STEP ③ 会場設営	06
STEP ④ 親子を出迎える	07
STEP ⑤ 読みきかせ	08
STEP ⑥ 読みきかせが難しい場合	09
STEP ⑦ 実施後	10
STEP ⑧ 感染が疑われる場合の対応	11
3 チェックリスト	12
4 事例	13
CASE ① 読みきかせ	13
CASE ② 読みきかせが難しい場合	15
CASE ③ ボランティアのモチベーション維持	16
感染対策実施中ポスター	17
参考資料	18

# 1 感染症流行時の実施方法検討で大切にしたいこと

基本姿勢

コロナ禍に寄せられた **声**



声から見えてくること

感染への不安

感染対策が必要

子育て環境の深刻化  
事業の目的を果たす意義

すべての親子に  
丁寧に手渡すことが大切

実施方法検討のポイント

感染対策



読みかせや  
対話の体験



基本姿勢

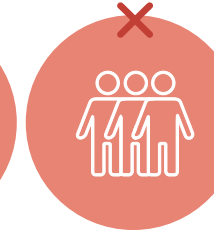


感染対策

「3密」の回避



換気の悪い  
密閉空間



多数が集まる  
密集場所



間近で会話をする  
密接場面



読みかせや対話

心の「密」

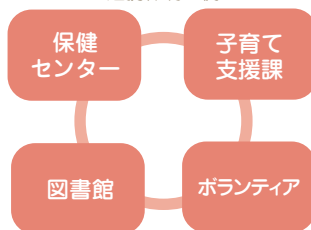


親子への 受容的態度・共感的理解

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

### ✓ 状況の変化に応じ、関係機関と連携して対応を検討する

連携体制の例



- ・実施機会や場所の変更は必要？
- ・どのように実施する？
- ・ボランティアの参加は？
- ・必要な感染対策は？
- ・未参加者のフォローアップは？ など

POINT

どんなやり方が「赤ちゃんにとっての最善」か

感染対策と同じく、「**どのようなやり方が赤ちゃんにとって一番良いか**」という視点も大切に対応を検討します。事業の目的を果たしながら、安全に実施していける方策を、**関係機関と連携して**探していくことも大切です。

### ✓ 決定した対応をスタッフに周知する



- 例
- 実施方法などの変更点
  - 感染対策の内容
  - 体調管理の方法
  - 読みきかせや対話の基本姿勢

事務局担当者



スタッフ

### ✓ 状況に応じてスタッフのシフトを管理する



急な交代に対応

- 例
- 予め代役を決めておく
  - 交代の対応は事務局担当者が行う

POINT

交代の心配がいらないと安心

体調不良や、感染者と接触があった場合など、**急な交代を心配するスタッフもいます**。緊急時の**対応を周知しておく**と安心して休むことができ、参加しやすくなります。

### ✓ スタッフが取り組む体調管理の項目を決めて周知する



体調の把握

- 例
- 検温を記録する



症状がある場合は参加を控える

- 例
- 発熱、咳、呼吸器症状

POINT

ボランティア保険は新型コロナにも対応

**ボランティア活動保険の特定感染症に新型コロナウイルスが追加され**、補償の対象になりました。保険への加入や体調不良時の対応について、ボランティアと事前に合意書を交わしておいても良いでしょう。



Dr. 神原から

ブックスタートの意義、再確認を

すべての保護者に、親子の愛着形成について伝えられる機会は貴重です。感染症への不安から巣ごもりで育児をする家庭が増えている状況をふまえながら、**赤ちゃんの発達にとって何が大切か**という観点で、ブックスタートの意義を改めて関係機関で確認し合っていただきたいと思います。

## STEP② 保護者への事前周知

GOAL 事前のお知らせで、保護者の不安を軽減する

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

## ☑ 感染対策を行っていることを伝える



## 安心につながる言葉

**例** ブックスタートに安心してご参加いただくために、ガイドラインの通り感染対策を実施しています  
感染防止に充分配慮して、ご参加をお待ちしております

POINT

## 感染対策の様子を具体的に伝える

どのような感染対策を行っているのかを、送付する通知やウェブサイトなどで具体的に紹介すると、「これなら大丈夫」と安心してもらえます。**写真を使って**伝えれば、会場の対策の様子がより理解しやすくなります。

## ☑ 参加を控えるべきケースと対応を伝える



## 体調不良や感染の心配がある

**例** 平熱を超える、または37.5度以上の発熱  
風邪症状が持続している  
咳、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、  
関節痛、下痢、嘔気、嘔吐、味覚障害・嗅覚障害がある  
過去2週間以内に発熱  
過去2週間以内に感染者との接触歴がある  
同居家族に同様の体調不良や感染者との接触歴がある

## 参加できない場合の対応を案内

**例** 電話連絡等の要不要を明記  
代わりの機会について伝える

POINT

## 参加できない親子への対応例

参加を控えるべきケースに該当する場合はどうなるのか、事前の通知で知らせます。例えば、**次回の健診で・家庭訪問で・図書館来館時に随時・子育て支援センターで実施**などの方法があります。ブックスタート・バックの手渡しや読みきかせを行う機会、参加方法を明記すると良いでしょう。

## ☑ 個々の事情に配慮しながら感染対策への協力をお願いする



事前の検温



マスク着用



最少人数で



手指消毒



入口で検温



時間の指定



換気への理解



咳エチケット

POINT

## 同伴が必要な方・アレルギーのある方などに個別の配慮を

感染対策への協力を呼びかけ、「**ご事情により難しい場合はお声かけください**」などの一言や**個別の対応方法**も書き添えておきます。**多胎児育児中・障害のある保護者**など、付き添いを必要とする方がいることも予め周知しておけば、不公平感を抱かれる心配も軽減します。**アルコールアレルギー**のある保護者には界面活性剤入りのハンドソープを用意し、手洗いを案内します。**事情によりマスクが着用できない保護者**には、個別に実施するなど、対応を考えておくのと良いでしょう。

POINT

## 重ね着できる衣服の準備をお願いする

30分に1回程度の換気を行います。室温が変動するため、**衣類の着脱等**で調節ができるよう準備を案内すると良いでしょう。



Dr. 榎原から

## 新型コロナウイルス、子どもの感染率は大人に比べて低い

新型コロナウイルス（変異株を含む）は、ACE受容体という細胞にくっついて人の体の中に入り込みます。子どもはこの細胞が少ないため、大人に比べて感染しにくく、感染しても基礎疾患がなければ、多くの場合は軽症です。

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

### ✓ 動線や空間づくりを工夫して人との接触を最小限にする



#### ひと組に1人が対応

**例** 受付・説明・読みきかせ・バック配付で、スタッフを変えずに実施



#### 飛沫を防止する

**例** 透明シートをつるす  
アクリル板を設置



#### 間隔を空ける

**例** 間を空けて椅子を配置  
待機場所に目印をつける



#### スペースを区切る

**例** パーティションを置く  
部屋を分ける

### ✓ 感染対策に必要な物を用意する



#### 感染対策用品の準備

**例** 非接触体温計  
アルコール消毒液  
ビニール手袋  
界面活性剤配合のハンドソープ  
待機場所の目印  
感染対策の案内表示／消毒済の表示  
「感染対策実施中」ポスター



#### NPO ブックスタートのサポート

##### スタッフ用エプロン

関係者が一目でわかるラッコのロゴマーク入りエプロンです。飛沫が衣類に付着するのを防ぐための対策としても有効です。  
\*サイズフリー／2,190円（税別）

エプロン  
サージカルマスク／不織布マスク  
フェイスガード／フェイスシールド  
パーティション  
アクリル板／透明ビニールシート

#### POINT

#### 透明の仕切りは市販の材料で作っても

飛沫防止用の透明の仕切りは、市販の材料で作ることができます。例えばホームセンターなどでは、**透明のビニールシートや支柱を安く揃えることが可能です**。大判のビニールシートを上から吊り下げたり、支柱を立ててピンと張れば、受付や読みきかせ時に活用できます。

### ✓ 換気を行う



#### 30分に1回の換気

**例** 窓やドアを開放する  
換気運転をする

#### POINT

#### 換気は2方向を意識

窓のある会場の場合は、30分に1回以上、数分間程度、窓を全開にして換気します。空気の流れを作るため、複数の窓がある場合は**2方向の壁の窓を開放します**。窓がない場合は、ドアを開けたり扇風機を活用します。

### ✓ 不特定多数が触れる箇所は定期的に消毒する



#### 消毒の徹底

**例** 受付、オムツ交換台  
トイレ、椅子、マット  
読みきかせ用絵本



#### スタッフの手指消毒

**例** スタッフ自身も定期的に手洗いや消毒を行う

#### POINT

#### オムツ交換台に注意

ウイルスが糞便中に排出される可能性があるため、オムツ交換の場所も十分な対策が必要です。アルコール消毒液を設置し、**使用後の消毒を保護者に促すこと**に加え、スタッフによる消毒頻度も確認しておきます。



Dr. 榊原から

#### 「できる対策はする」姿勢が安心につながる

マスクは飛沫防止に効果があることがわかっています。さらに、対面する場において、透明ビニールシートやアクリル板を設置することも、飛沫が直接かからないという点で有効です。「できる対策はする」という姿勢が、保護者に安心感を与えます。

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

### ✓ まずは歓迎する



#### 歓迎の言葉

例 「お待ちしていましたよ」  
「よくいらっしゃいましたね」

#### POINT

#### 一人ひとりへ心をこめて挨拶

感染対策をお願いすることは大切ですが、そればかりが先立ってしまうと、保護者の中には「歓迎されていない」と感じてしまう人もおられるかもしれません。まずは歓迎の気持ちをこめて笑顔で挨拶をすると、その後の感染対策への協力も得られやすくなります。

### ✓ 感染対策を実施していることを伝える



#### 安心につながる案内表示

例 「感染対策実施中」ポスター (p17) の掲示  
対策への協力を伝える案内表示



### ✓ 手指消毒・検温をお願いする



#### 手指消毒



#### 入口で検温

例 検温に加え、問診を実施

#### POINT

#### しっかり乾かすことで消毒効果が得られる

消毒液の抗菌作用は、アルコールが乾いて揮発するときに効果が発揮されません。手に揉み込んだ後、よく振るなどして乾かすよう案内します。

### ✓ 来場者を把握する



#### 参加日と会場の記録

例 感染者が出た場合に備え、誰がどこの会場に参加したかを把握する名簿を作成する  
※作成の際は個人情報に留意

### ✓ 個別の配慮が必要な保護者に対応する



#### マスクが着用できない方

例 個別に別室で実施する  
透明アクリル板を用意する



#### 持病のある方

例 ぜんそく症状のある方は個別に別室で実施する



#### 同伴が必要な方

例 事情により同伴が必要な方がいることを他の保護者に周知する  
補助スタッフをつける



#### アルコールアレルギーのある方

例 界面活性剤入りハンドソープでの手洗いを案内  
アルコールフリーの消毒液を使用する



#### 安心につながる案内や表示

例 「ご事情により難しい場合はお声がけください」の言葉を掲示  
「案内」の腕章または名札をつけたスタッフを配置



Dr. 榎原から

#### 感染への不安には個人差がある

有効性のあるワクチンの接種が進んでいます。今後ワクチンの接種率が高まれば、しっかりと対策を施すことで感染や重症化を大幅に減らすことができます。一方、ウイルスへの感受さには個人差があります。状況が改善しても、不安に思う人がいることをふまえて対応する必要があります。

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

### ☑ 感染対策を工夫して読みきかせを行う



#### 距離を空けて

**例** 読み手と親子の距離ができるだけ2メートルになるよう椅子を配置

#### POINT

#### 離れていても赤ちゃんの興味・関心を引くコツ

距離があると、赤ちゃんの視線は絵本以外のものに向きがちです。そんな時は、腕を伸ばし、読みきかせる絵本を赤ちゃんの方にくっと近づけ、絵本に視線が向いたのを確認したら、そのままゆっくりと自分のそばへ戻して読みはじめると、比較的集中してくれます。



#### 飛沫防止策を施して

**例** アクリル板や透明ビニールシート越しに読みきかせ  
マスクに加え、フェイスシールドを着用



#### 時間短縮

**例** 最初の数ページのみ読みきかせを行う  
待合いの時間に事業の趣旨を伝える動画を放映する



#### 読みきかせ用の絵本を用意

**例** 手渡す絵本とは別に読みきかせ用の絵本を用意し、  
ひと組ごとに消毒を行う

#### POINT

#### 赤ちゃんの興味を引きやすい絵本を読む

離れて読みきかせを行う場合、赤ちゃんの興味を引きやすい絵本（音の響きやリズムを楽しむ絵本など）を読むのも良いでしょう。

### ☑ 感染対策をしても楽しめるように読み方を工夫する



#### マスク着用でも楽しさを伝える工夫

**例** 目と肩で笑顔を表現できるようにする  
口角を上げて明るいトーンで話す

#### POINT

#### 読みきかせる前に、目を見てあいさつ

絵本を読む前に、赤ちゃんや保護者一人ひとりに、目を見て「こんにちは」とあいさつをします。初対面でマスクをつけていても、目が合うと、そこに目によるコミュニケーションが生まれ、お互いに安心して関わる事ができるようになります。

### ☑ ひと組終わるごとに椅子やマットを消毒する



#### 消毒の徹底

**例** 親子が座った椅子やマットを消毒する  
ひと組ごとにスタッフの手指消毒を行う

#### POINT

#### 「消毒済み」の表示があると便利&安心

消毒をしたかどうかがわかるように表示を用意しておきます。作業上便利だけでなく、保護者も安心して参加できます。



Dr. 神原から

#### 読みきかせの体験は何よりのきっかけ

読みきかせを行うと、赤ちゃんが絵本を一生懸命見たり、読み手の顔を見たりといったことが実際に起こります。そうした様子を見る経験が、家で絵本をひらくきっかけになります。



## STEP 6 読みきかせが難しい場合

GOAL 感染対策のため省略した「読みきかせや対話の体験」や趣旨説明を補う

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

## ☑ 「読みきかせや対話の体験」を補足する資料を同封する

## 資料やおたよりを同封

- 例 ブックスタートの趣旨を伝える資料  
赤ちゃんと絵本のひとときについて伝える資料  
子育てを応援するメッセージを届ける手紙

## NPO ブックスタートのサポート

## アドバイス ブックレット

「赤ちゃんと絵本をひらく時間の楽しさ」を伝える冊子です。赤ちゃんが家族と絵本を楽しんでいる様子を、イラストと短い文章で紹介しています。

感染対策で読みきかせや趣旨説明が十分にできない場合に、それを補う資料としてもご利用いただけます。

- \* A5サイズ／本文14ページ／100円（税別）  
\* 多言語版（8言語）、点字／拡大文字版付きもあります。



## 保護者向けレター案

感染対策のため読みきかせができない場合に、絵本に添えて配付するおたよりの書式案です。自治体名を入れるなど、状況によりカスタマイズしてご使用ください。

- \* 無料／ダウンロードはウェブサイトから  
（当 NPO とお取引のある自治体のみ）



## YouTube 動画

## 「赤ちゃんと いっしょにえほん」

赤ちゃんと絵本をひらく時間の楽しさを2分で伝える動画です。読みきかせができない場合、保護者にブックスタートの趣旨を伝える素材としてお使いください。

- \* QRコードのダウンロードはウェブサイトから  
（当 NPO とお取引のある自治体のみ）



こちらからご覧ください▲

## ☑ オンラインを利用して趣旨の説明や読みきかせを行う

## オンラインの活用

- 例 ブックスタートの趣旨説明動画を作成する  
リアルタイムで画面越しに説明等を行う  
作成した動画を保護者に周知する

## NPO ブックスタートのサポート

## コロナ禍特別措置

「ブックスタート事業における絵本のオンライン利用について」

\* 2021年10月～2022年4月末でサポートを終了しました。

コロナ禍における特別措置として「ブックスタート赤ちゃん絵本」のオンライン利用を希望される際の可否・方法・条件を、著作権者および出版社のご協力のもとまとめました。

サポート  
終了

## ☑ 次につながる声かけをする

## 次の機会を案内

- 例 「子育て支援センターで読みきかせを行っています」  
「図書館でおはなし会をやっているのでぜひ来てくださいね」

POINT

## フォローアップをより意識して

次の機会につなぐことで、改めて地域の子育て情報や親子の絵本の時間について伝えることができ、継続的なサポートにもつながります。



Dr. 神原から

## オンラインは音声のクオリティが大切

対面とオンラインとは、赤ちゃんの母語の学習に差が出るのが研究により明らかになっています。その原因の一つは「声」です。映像を作成する際は、特に声の音質に留意すると良いでしょう。マイクを使用してくっきりと声が聞こえるようにするほか、マスクをはずして表情もよく見せてあげてほしいと思います。

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

### ☑ 換気を行う



#### 終了後の換気

例 窓やドアを開放する  
換気運転をする

### ☑ 不特定多数の人が触れた箇所を消毒する



#### 消毒の徹底

例	椅子	ドアノブ
	電気のスイッチ	手すり
	蛇口	トイレ
	オムツ交換台	見本用の絵本
	受付周り	パーティション
	筆記用具	アクリル板や透明シート

POINT

#### 清掃時もマスクや手袋の着用を

スタッフや親子が触れた箇所だけでなく、当日使用した物も消毒をします。多くの人が触れた箇所には飛沫の付着も多い可能性があるため、**引き続きマスクを着用し、ビニール手袋をして消毒を行う**など、清掃時も感染予防を徹底します。

### ☑ 清掃後は手洗い・手指消毒を行う



#### 手洗い・手指消毒

### ☑ パックを受け取りに来ていない保護者をフォローする



#### 別の機会を手渡す

例 次回の健診時に実施する  
家庭訪問で実施する  
図書館、保健センター、子育て支援センターなどで実施する



#### オンラインの活用

例 対面での実施が難しい場合の特別な対応として、絵本を郵送で届け、Zoomなどを用いてリアルタイムで画面越しに実施

POINT

#### 支援を必要としている人がいる可能性も

不参加の理由は様々ですが、感染への不安から巣ごもりで育児をしているなど、**足を運ばなかった人の中にも、支援を必要としている人がいるかもしれません。**ブックスタートを行い、親子と直接関わることで、そうした保護者につながるきっかけにもなります。

#### 参考 コロナ禍で出産した女性 心理不安増大

新型コロナウイルス流行中は、それ以前と比較すると、妊産婦の心理不安が増大していることが明らかになりました\*。感染への心配や社会的サポートの不足が不安の要因となっている可能性があると考え、地域包括的なケアが求められています。

\* 2022年1月発表 済生会横浜市東部病院と東邦大学などの研究グループが行った調査結果より



Dr. 神原から

#### 感染症流行時にこそ、事業の価値を活かして

感染症流行時は、家の中にもって育児をすることでノイローゼ気味になってしまう人が増えると考えられます。ブックスタートをきっかけに、**そうした保護者とながり、絵本を介した親子の愛着形成について伝える**ことは、**事業の大きな意義**といえます。

## STEP 8 感染が疑われる場合の対応

GOAL 万が一感染が疑われる場合に適切に対処する

▶ 実施方法や状況に合わせて、取り組むべき項目を設定しましょう。

## 会場で親子の発熱や呼吸器症状が確認された場合

会場入口の検温で発熱や咳などの呼吸器症状が確認された親子には、各自治体の方針に沿って対応します。可能な範囲で、以下のような対応も検討しましょう。

## ✓ 会場には案内せずバックを手渡す



## 会場に入れられない親子向けのバックを用意

例 趣旨説明や、親子の絵本のひとときについて伝える資料などを同封したバックを予め用意しておき、来場した親子が会場に入れられない場合に手渡す

## 会場に入れられないケースの例

平熱を超える、または 37.5 度以上の発熱  
咳、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節痛、下痢、嘔気、嘔吐、味覚障害・嗅覚障害がある  
感染者との接触など感染の心配がある

## ✓ 次の機会につながる声かけをする



## 次の機会を案内

例 「子育て支援センターで読みかせを行っています」  
「図書館ではおはなし会をやっているのでぜひ来てくださいね」  
「またお会いしましょう」「気をつけてお過ごしくださいね」

POINT

## 「お大事に」の気持ちで

感染が疑われる親子を会場に案内することはできませんが、ただバックを渡すだけではなく、**体調を気遣う言葉**があれば、ブックスタートに参加できず残念に思う気持ちを和らげることができるかもしれません。

## スタッフの感染が疑われる・感染した場合

感染が疑われる場合は活動への参加を控えます。実施後に感染が発覚した場合の対応は、事前に保健所に確認しておきましょう。

## ✓ 感染が疑われる場合は活動への参加を控える



## 発熱や呼吸器症状

例 平熱を超える、または 37.5 度以上の発熱  
風邪症状が持続している  
咳、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節痛、下痢、嘔気、嘔吐、味覚障害、嗅覚障害がある  
過去 2 週間以内に発熱  
過去 2 週間以内に感染者との接触歴がある

## ✓ 実施後に感染が発覚したときは保健所の指示に従い対処する



## 感染が発覚したスタッフは事務局担当者へ連絡

例 活動に参加した日が感染可能期間（発症の 2 日前以降）だった場合



## 保健所の指示通りに対応

例 会場内の消毒  
感染者と接触した可能性のある人を調査

POINT

## 事前に対応を確認

ブックスタートに参加したスタッフが感染した場合にすぐ対応ができるよう、予め保健所に対応を確認しておきます。新型コロナウイルスの場合は、**発症の 2 日前から発症後 7～10 日程度他の人に感染させる可能性がある**とされています。

# チェックリスト

「2 対策」で示した対応をリスト化しました。実施方法や状況に応じて取り組むべき項目を設定し、対応を確認する際にご活用ください。

★印の項目にすべてチェックが入った場合にご使用いただける、会場掲示用の「感染対策実施中」ポスターのデータをご用意しました (p17)。「感染対策」及び「感染対策をしながら読みきかせを行う工夫」を実施していることを、対象者に広報する際にご活用ください。

## 実施前／会場設営

STEP ① 態勢を整える	check
ゴール：保護者やスタッフが、安心して参加できる態勢をつくる	▼
状況の変化に応じ、関係機関と連携して対応を検討する	
決定した対応をスタッフに周知する	
状況に応じてスタッフのシフトを管理する	
★ スタッフが取り組む体調管理の項目を決めて周知する	
STEP ② 保護者への事前周知	check
ゴール：事前のお知らせで、保護者の不安を軽減する	▼
感染対策を行っていることを伝える	
★ 参加を控えるべきケースと対応を伝える	
個々の事情に配慮しながら感染対策への協力をお願いする	
STEP ③ 会場設営	check
ゴール：3密を回避できるように会場を設営する	▼
★ 動線や空間づくりを工夫して人との接触を最小限にする	
★ 感染対策に必要な物を用意する	
★ 換気を行う	
★ 不特定多数が触れる箇所は定期的に消毒する	

## 親子の出迎え／実施中

STEP ④ 親子を出迎える	check
ゴール：一人ひとりの保護者の気持ちに配慮して感染対策への協力をお願いする	▼
まずは歓迎する	
感染対策を実施していることを伝える	
★ 手指消毒・検温をお願いする	
来場者を把握する	
個別の配慮が必要な保護者に対応する	

STEP ⑤ 読みきかせ	check
ゴール：感染対策を工夫して「読みきかせの体験」を届ける	▼
★ 感染対策を工夫して読みきかせを行う	
感染対策をしても楽しめるように読み方を工夫する	
★ ひと組終わるごとに椅子やマットを消毒する	
STEP ⑥ 読みきかせが難しい場合	check
ゴール：感染対策のため省略した「読みきかせや対話の体験」や趣旨説明を補う	▼
「読みきかせや対話の体験」を補足する資料を同封する	
オンラインを利用して趣旨の説明や読みきかせを行う	
次につながる声かけをする	

## 実施後

STEP ⑦ 実施後	check
ゴール：会場の片付け・清掃を安全に行う／不参加の保護者をフォローする	▼
★ 換気を行う	
★ 不特定多数の人が触れた箇所を消毒する	
★ 清掃後は手洗い・手指消毒を行う	
バックを受け取りに来ていない保護者をフォローする	
STEP ⑧ 感染が疑われる場合の対応	check
ゴール：万が一感染が疑われる場合に適切に対処する	▼
会場で親子の発熱や呼吸器症状が確認された場合	
会場には案内せずバックを手渡す	
次の機会につながる声かけをする	
スタッフの感染が疑われる・感染した場合	
★ 感染が疑われる場合は活動への参加を控える	
★ 実施後に感染が発覚したときは保健所の指示に従い対処する	

## CASE ① 読みきかせ

▶ 各事例の詳細はウェブサイトで紹介しています。📄 から該当ページにアクセスできますので、ぜひご覧ください。※事例は取材当時

## ①-1 距離を保って読みきかせ（埼玉県三芳町）



長机の両端に椅子を設置し、距離を保って読みきかせを実施。  
長机は長さが180cmあるため、ソーシャルディスタンスの目安になるほか、感染対策のためのグッズ置き場にも。



「いつもはこのくらいの距離で読んでいますよ」「おうちでは近い距離で読んであげてくださいね」と伝えるために、通常時のブックスタートの様子を写した写真を用意しています。

## ①-2 アクリル板越しに読みきかせ（栃木県野木町）



通常時と同じ距離で実施するため、アクリル板の仕切り越しに読みきかせを実施。赤ちゃんにも絵本や読み手が見えやすく、声も届きやすいということです。

## ①-3 「ゆっくり・ゆったり・にっこり」（鳥取県鳥取市）



事業開始から18年間、「ゆっくり・ゆったり・にっこり」を合言葉に事業を実施してきた鳥取市。座布団の代わりにマットを敷き、紹介用の資料はラミネートするなど消毒しやすい工夫を行いました。



ブックスタートの説明や流れを写真つきで掲示。人形を使った挨拶やわらべうたの紹介と、読みきかせは継続するなど、コロナ禍でも合言葉をよりどころに、感染状況に応じて実施方法を決めています。

## ①-4 読みきかせは保護者の希望にあわせて（広島県尾道市）



通常時の様子

通常時は、読みきかせを行うスタッフ（中央）のほかに、赤ちゃんを抱っこする役割のスタッフ（右）を配置し、保護者（左）が赤ちゃんの様子を客観的に見られるよう工夫しています。



コロナ禍の様子

コロナ以降は抱っこ役を休止し、距離を取って読みきかせを実施。不安の程度には個人差があるため、読みきかせは保護者に希望を聞いて行うなど、コロナ禍も保護者の目線を大切にしています。

## CASE ① 読みきかせ

▶ 各事例の詳細はウェブサイトで紹介しています。📄 から該当ページにアクセスできますので、ぜひご覧ください。※事例は取材当時

## ① -5 会場を換気の良い場所に変更して再開（東京都立川市） 📄



コロナ以前は専用の部屋でブックスタートを行っていましたが、再開後は換気の良いロビーに変更。事務局の子ども家庭支援センターと健診担当課が相談し、安全な実施方法を検討していきました。



再開後は、絵本についての概要や楽しみ方の紹介を基本に短時間でブックスタートを行っています。密にならない状況であれば読みきかせを行うなど、臨機応変に対応しています。

# CASE ② 読みきかせが難しい場合

▶ 各事例の詳細はウェブサイトで紹介しています。📄から該当ページにアクセスできますので、ぜひご覧ください。※事例は取材当時

## ②-1 「すべて」の親子に手渡すため健診で継続（東京都新宿区）📄



通常時の様子

通常時は3-4か月児健診で読みきかせを実施していましたが、当面の間、健診での読みきかせの再開は難しいと判断。  
図書館での実施に変更して読みきかせを行う案もありましたが、「すべて」の親子とつながることのできる健診での実施を継続することにしました。

## ②-3 動画で趣旨を伝える（福岡県宗像市）📄



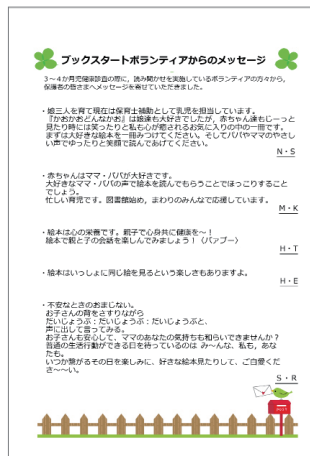
読みきかせの休止を受け、赤ちゃんとの絵本の時間についてできる限り丁寧に紹介したいと、図書館の職員がオリジナルの紙芝居動画「ようこそブックスタート」を作成。  
ブックスタートの趣旨説明や赤ちゃんと家族との絵本の時間、赤ちゃんからの図書館利用などについて紹介しています。

## ②-2 保護者へのお手紙を添えて（東京都八丈町）📄



読みきかせの休止を受け、絵本と一緒に手渡す保護者向けのおたよりを作成。読みきかせができないお詫びに加え、「お渡しした絵本をご家庭で楽しんでください」と案内しました。

## ②-4 ボランティアの「声」を届ける（茨城県守谷市）📄



読みきかせを取りやめたことで、ボランティアの活動が休止。そこで、事務局である図書館がボランティアから保護者に向けたメッセージを集めておたよりにまとめ、絵本とともにお渡しすることになりました。  
親子に直接言葉をかけられなくても、手元に言葉が残ることで、「地域みんなで子育てを応援していますよ」という思いを伝えるねらいです。

# 4 事例

## CASE ③ ボランティアのモチベーション維持

▶ 各事例の詳細はウェブサイトで紹介しています。📄 から該当ページにアクセスできますので、ぜひご覧ください。※事例は取材当時

### ③ -1 ボランティア向けの講座を開催（大阪府泉南市）📄



ボランティアの活動が1年間休止したため、モチベーションを維持すべく講座を開催。絵本や赤ちゃんの発達、市の子育て支援等について、学ぶ機会を提供しました。



ボランティアによる読みきかせは休止したものの、図書館と子育て支援センターの職員が4か月児健診に出向いてブックスタートを実施。透明ビニールシート越しに親子と対面しています。

コロナ禍のブックスタートに関する事例は、[当 NPO ウェブサイト「読みもの - #コロナ禍のブックスタート」](#)で随時ご紹介しています。ぜひご覧ください。

### ③ -2 ボランティアも交えた運営会議で対応検討（千葉県柏市）📄



コロナ禍の対応について運営会議を開催。行政職員とボランティアそれぞれの立場から意見を出し合い、対応を決めています。



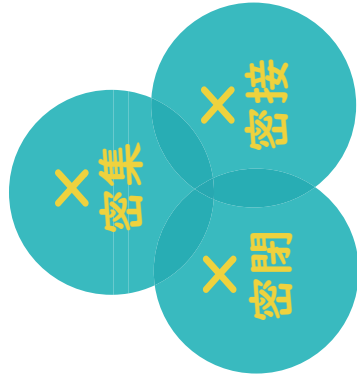
読みきかせの休止を受け、会議で出されたアイデアの1つが、絵本を紹介する手作りの壁面装飾。有志のボランティアで作成しています。



ブックスタートに**安心**してご参加いただくとために

# 感染対策実施中

ガイドラインに基づき、以下の行動を実践しています。



3 密の回避



安全で楽しい  
読みきかせ



マスク着用



清掃／消毒



体調管理

## 参考資料 (2022年4月末時点)

新型コロナウイルスについて、ブックスタート事業の運営に関わる参考リンクをまとめました。本ガイドラインの感染対策の内容の根拠となる文書等についても掲載しています。

### 新型コロナウイルス（含変異株）について

- ・ [新型コロナウイルスの"いま"に関する11の知識](#) (厚生労働省 / 2022年4月)
- ・ [新型コロナウイルスに関するQ&A【乳児・小児への影響について】](#) (厚生労働省 / 2022年4月)
- ・ [小児における新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) の現状と感染対策についての見解](#) (日本小児科学会 / 2021年5月20日)
- ・ [チャイルド・リサーチ・ネット 所長 \(榊原洋一\) ブログ](#)

### 感染対策について

- ・ [3つの密を避けるための手引き](#) (厚生労働省)
- ・ [新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について](#) (厚生労働省 / 消費者庁 / 経済産業省)
- ・ [図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン](#) (日本図書館協会 / 2021年10月19日)
- ・ [【YouTube 動画】正しい手洗い方法](#) (厚生労働省 / 2020年2月28日)
- ・ [【YouTube 動画】正しいマスクのつけかた](#) (厚生労働省 / 2021年7月9日)
- ・ [【YouTube 動画】マスク等の効果について](#) (内閣官房 / 2020年12月7日)
- ・ [【YouTube 動画】手指消毒の方法](#) (京都薬科大学 / 2020年6月25日)

### ブックスタート事業の実施に関わる文書等

- ・ [【事務連絡】「母子保健事業等の実施に係る自治体向けQ&A」について](#) (厚生労働省 / 2021年1月8日)
- ・ [【事務連絡】緊急事態宣言が発出された地域における子育て世代包括支援センター等相談支援を実施する事業に係る新型コロナウイルスへの対応について](#) (厚生労働省 / 2021年1月7日)
- ・ [社会教育施設における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について](#) (文部科学省 / 2021年1月7日)

## ブックスタート®とは

0歳児健診などの機会に、読みかきの「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。絵本を介して親子でふれあうひとときを持つきっかけを、「すべての赤ちゃん」に届けます。

赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が連携して行う、自治体の事業です。

## NPO ブックスタート

イギリスで1992年に始まったブックスタートを、日本で推進する民間の非営利組織です。活動の正確な理念を伝え、事業を実施または検討中の自治体に対して、情報提供などの各種サポートを行います。

## ブックスタート®事業における 感染症対策ガイドライン

2021年10月発行

2022年5月改訂版発行

制作／発行 NPO ブックスタート

監修 榊原 洋一（お茶の水女子大学名誉教授／小児科医）

協力 千葉県千葉市 健康支援課  
鳥取県鳥取市 健康・子育て推進課

※制作にあたり、全国の自治体の皆さんからお聞かせいただいた  
コロナ禍における事例を参考にいたしました。ヒアリングへ  
ご協力ありがとうございました。

## NPO ブックスタート

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 角田ビル3階

Tel：03-5228-2891 Fax：03-5228-2894

E-mail：infobs@bookstart.or.jp

<https://www.bookstart.or.jp>

© Bookstart Japan 2021

※ 本資料の無断複製・複写・転載はお断りいたします。

※ ブックスタート事業関係者の情報共有を目的とした本資料のコピーは可能です